

# 清真の精神は誠信

## 台湾におけるハラール認証制度の展開とムスリムの食選択

砂井紫里（早稲田大学高等研究所）

本発表の目的は、台湾を対象に、ムスリムが少数派を構成する社会においてムスリムと非ムスリムを取り込み展開するハラール認証制度と、制度を活用する事業者と消費者の動向を考察することである。

台湾では、食品や健康分野の台湾製品の輸出と、観光振興政策の推進などを背景に、ハラール認証の制度化が進んでいる。従来、中国語圏のムスリムは、ハラールを含意する語として清真 *gingzhen* を用いてきた。人びとの生活の中の清真は、ムスリムにとって非ムスリムと自己とを弁別するアイデンティティの根幹となってきた。だが、近年のハラール産業に関わる場面では、清真はもっぱら「イスラーム法上合法なものごと」というハラールの訳語として限定的に用いられるなど、清真とハラールの意味は、重なりながらもずれがある。本発表では、台湾における輸出製品のハラール認証制度の歴史的展開を整理し、海外の認証動向と台湾国内の経済政策と連動しながら、ハラール産業に関わるアクターの多様化、認証と情報の集約・分散がおきていることを指摘する。次に中国回教協会によるレストラン認証の背景と、その認証カテゴリーの細分化と統合、ムスリムおよび非ムスリム事業者の実践について分析する。認証制度とそれによって創造された新しい商品・料理やサービスがムスリムと非ムスリムを架橋しつつ弁別するという、ハラール認証制度のもつ自己と他者を連接し差異化する両面性を明らかにする。さらに台湾の食選択の多様性と弾力性の事例としてムスリム・フレンドリーとハラール、素食（台湾ベジタリアン）とハラールの親和性と齟齬？について考察する。これにより、台湾のハラール認証制度が、グローバルな影響をうけつつも、台湾独自の価値感や食文化と接合しながら展開していることを指摘する。

他の非イスラーム地域と同様に、台湾でもハラール認証制度は、非ムスリムのハラール産業への参入を促進しており、その点で制度はムスリムと非ムスリムを架橋する。他方で台湾の中国回教協会のレストラン認証では、事業主がムスリムか非ムスリムかに応じてそれぞれムスリム・レストラン／ムスリム・フレンドリー・レストランと認証カテゴリーを分けている。このカテゴリーの分化は、ムスリムと非ムスリムの違いを可視化している。

台湾の製品認証の契約における「誠信」、およびレストラン認証の「誠実互信の原則」は、いずれも誠実さと信頼を強調している。「誠信」は、認証者と被認証者の双方が、誠実にとりくみ信頼を培うという両者

の関係を示している。ハラール産業に限らずビジネスの原則として、基本的精神として求められる原則であり、台湾のムスリムに提供する食品やサービスを扱う上でも核となる概念である。とりわけ非ムスリムの清真産業への参与においては欠かせない理念であり、参与者同士の関係性を重視するものである。

国内外の事業者、政府関係機関、ムスリム団体、ムスリムと非ムスリムを巻き込み展開する現代ハラール産業においては、商品・サービスの質の良さ、素食者への情報提示や柔軟な対応など、台湾の飲食サービスに従来からあつた「弹性」を素地としながら、多様なサービス環境や料理が作り出されている。

ムスリムにとっては「我々の」、非ムスリムにとっては「彼らの」もしくは意識されてこなかった物事であつた清真が、ハラール認証制度が展開する中で、グローバルな現代ハラール産業の「ハラール」と連接し、より互換的に用いられるようになっている。しかし非ムスリムが提供するサービスをムスリム・フレンドリーという語彙で差異化するように、彼我の別を確保しているといえる。ハラール認証制度の導入は、新たなアクターの参入による宗教・民族・地域を跨いだ協働を促す側面がある。こうした連接と差異化はハラール認証の切り離すことのできない側面である。

一方で、認証ベースのムスリム対応が、結果として本来柔軟性をもつはずのムスリムの食の選択肢を狭め、ひいてはムスリム像を矮小化ないし画一化する状況も生じつつある。ムスリムが少数派を構成する社会においては、非ムスリム事業者はしばしば認証ありきのイスラーム／ムスリム理解になりがちである。しかしそれは、ムスリムの中の差異や多様性を捨象し、本来サービスの受け手であるはずのムスリムの選択肢を狭めてしまう限界がある。ハラールはハラームを避けること、ハラーム以外は基本的にハラールであるというイスラームの基本に立ち返れば、それは本来的には台湾社会における「弹性」と親和性のある概念である。また、認証の要件で求められる「合法性」も、台湾の「誠信」の精神と同じものである。ハラール概念の基本を理解し、相違性と同時に共通性を認識することが、各国・地域の飲食を含む社会事情に無理がなく、かつ画一的ではないムスリム対応において必要とされるのではないだろうか。

キーワード イスラーム ハラール 清真 誠信 素食 台湾